

トピックス

# 若者と政治

～インターン生(3期)の感想～



高松市内のオリーブ畑を視察

**あっきー** 大学2回生 香川県出身 アパレル関係でバイト中。^^  
インターンを通して、政治が行われている現場を見たことは、これから社会人として生きていく上で大変貴重な経験となりました。また、現在の社会問題について考えるきっかけにもなりました。

**いっしー** 大学1回生 香川県出身 趣味はバドミントン。^^  
インターン期間中に、県議会と高松市議会が開かれていたこともあり、本会議などをたくさん傍聴しました。それぞれ、雰囲気違って、どのような質問がされるのか、楽しみながら傍聴することができました。

**かっしー** 大学2回生 岡山県出身 マリンライナーで通学中。^^  
今回のインターンシップで、議員さんや県庁の方、他事務所のインターン生など様々な人と関わることが、最も印象的でした。自分とは異なる立場の人々の話は、私の視野を広げてくれました。



●今年の卒業式は、規模の縮小か、中止という状態。仕方がない面もありますが、子どもたちや保護者の気持ちを考えると、複雑です。春は出会いと別れの季節。少しでも明るい話題が増えるように、気持ちも新たに活動してまいります！

●9年目の3・11。今年も中央公園で開催された追悼セレモニーに参加しました。被災地の思いを、香川でもつないでいきます。



●一回り以上下の友人の結婚式に、夫婦で出席しました。新郎新婦の御両親の方が、私らと歳が近くて、半分は親の気持ちでした。それはともかく、未永く幸せに。

**もっさん悟録**  
●今年も桃次郎と一緒に？恵方巻を食べました(ハナコは逃げました)。ところで、新型コロナウイルスの影響で、客足が大きく落ちた飲食店も少なくありません。財布と相談しながら且つ太らないように、「食べて応援」したいと考えています。



ポストでお受け取りの方へ。勝手ながら、投函させていただきました。お目を通していただければ幸いです。

香川県議会議員

# 山本 悟史

県政レポート 2020年春号

新型コロナウイルスが、世界中で猛威を振るっています。不確かな情報に惑わされることなく、正しく怖がるのが、社会の安定を取り戻すことにつながります。まずは、手洗いやうがいをしっかりやっていきましょう。

## 新型コロナウイルスの影響

■一般的な相談窓口  
帰国者・接触者相談センター／保健所感染症電話相談窓口(24時間対応)  
高松市保健所 Tel: 087-839-2870 Fax: 087-839-2879

■各種相談窓口(香川県 ※原則平日の勤務時間内に対応)

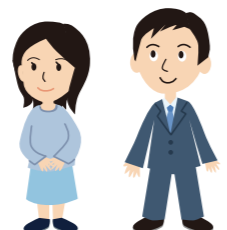
内容	担当課	電話
感染症に関する事	業務感染症対策課	087-832-3302
高齢者施設に関する事	長寿社会対策課	087-832-3268
障害児・者施設に関する事	障害福祉課	087-832-3293
児童福祉施設(入所)に関する事(障害児施設を除く)	子ども家庭課(児童家庭グループ)	087-832-3286
保育施設に関する事(放課後児童クラブを含む)	子ども家庭課(保育所グループ)	087-832-3284
県主催行事の開催基準に関する事	健康福祉総務課	087-832-3252
観光に関する事	観光振興課	087-832-3360
中小企業の経営に関する事	経営支援課	087-832-3343
労働や雇用に関する事	労働政策課	087-832-3371
県立中学校、高等学校に関する事	高校教育課	087-832-3750
県立特別支援学校に関する事	特別支援教育課	087-832-3757

昨年、中国湖北省で発生した新型コロナウイルス感染症。あれよあれよという間に感染者が広がり、世界中で様々な悪影響が出ています。我が国においても、初動体制が上手くいったとは言えず、結果的に学校休業という事態にまで至りました。毎日様々な報道がなされていますが、中にはデマもありますので、行政等が発表する確実な内容のものを優先して、安全性を確保していただきたいと考えています。お困り事があれば、遠慮なく連絡ください。

※各市町の施設や問題に関しては、それぞれの役所にお問い合わせください。

### 山本悟史 検索 プロフィール

- 1968(昭和43)年 観音寺市生まれ(観音寺第一高校OB)
- 1992(平成4)年 立命館大学法学部卒業・香川県庁入庁  
危機管理課時代…平成16年台風高潮災害対応
- 2007(平成19)年 高松市議会議員選挙初当選  
市議時代…埋蔵金2億円の返還を実現!
- 2011(平成23)年 県議会議員選挙初当選  
1期目…ボランティア等で10回以上被災地訪問
- 2015(平成27)年 県議会議員選挙2期目当選
- 2016(平成28)年 少子化対策特別委員長に就任
- 2017(平成29)年 決算行政評価特別副委員長に就任
- 2018(平成30)年 総合防災対策特別委員長及び県立体育館整備等に関わる特別副委員長に就任
- 2019(令和元)年 議会運営副委員長に就任



愛称…もっさん  
家族…妻と保護猫2匹、借家暮らし  
性格…基本のんびり、時々頑固  
趣味…B級グルメ、プロレス観戦、視察先のまぢめぐり



御意見やお困り事があれば、お気軽に連絡ください。

**香川県議会**  
〒760-8570 高松市番町4-1-10  
Tel:087-832-3674  
Fax:087-831-4193  
Email:  
s-yamamoto@gikai.pref.kagawa.jp

**所属政党【国民民主党香川県連】**  
〒761-8072 高松市三条町315-3  
Tel:087-868-0028  
Fax:087-868-0109

**自宅【後援会】**  
〒760-0080 高松市木太町2735-3  
Tel & Fax:087-833-3650  
Email:  
mossan1968@me.pikara.ne.jp

## 行動力! 山本悟史 年明け以降の主な活動

**1月**  
地域活力向上対策特別委員会で、豊南地区営農センター等を視察。



**2月**  
総務委員会で、公益財団法人オイスカ四国研修センターを視察。



**3月**  
衛生面に十分注意しながら、各種勉強会を少人数で実施しました。



# 2月定例会(2/17~3/18) 代表質問答弁(2/20)

## 1 2020(令和2)年度予算等の内容は?

**知事** 「信頼・安心のかかわ」の実現のため、ハード・ソフト両面での防災・減災対策を強力に推進するほか、新・かがわ健やか子ども基金事業などによる子育て環境の一層の充実、ドクターヘリの導入など医療提供体制の確保、介護人材の確保やひきこもり対策などにも積極的に取り組み、「信頼や共生、安心な社会づくりを進めていく。また、「成長するかがわ」の実現のため、情報通信関連産業の育成・誘致に新たに取組むとともに、県内企業の外国人材の受入れを支援するほか、「笑顔で暮らせるかがわ」の実現のため、県立学校のICT環境の整備など教育環境の充実、犬猫の譲渡推進などにも取り組む。

## 2 中小企業の働き方改革推進への取り組みは?

**知事** 「かがわ働き方改革推進宣言」を行った企業等に対し、優れた成果が認められた場合には表彰を行い、社内労働環境の整備や在宅勤務等の柔軟な働き方を推進するために必要な経費の一部を助成している。こうした取組事例を県HPなどで広く情報発信しており、今後はこれらをまとめた事例集を作成し、各種イベントで積極的に紹介するなど、効果的な周知、広報を通じて、優良事例の横展開につなげる。働き方改革への取組みが十分に進まないという課題に対応するため、新たに社会保険労務士等の専門家を講師に、現状分析、計画作成、実践等の各段階に応じた講座を開催するほか、個別訪問等によりフォローアップする「働き方改革推進人材育成支援事業」を実施し、中小企業内の人材育成を支援する。

## 3 東京2020オリンピック・パラリンピックを目指す県出身選手への支援と県内の盛り上げは?

**知事** 東京オリンピックを目指す本県出身選手への支援は、昨年度から「東京オリンピック候補選手強化事業」を実施し、今年度はバドミントンの桃田賢斗選手をはじめ、14競技21名を指定し、希望に応じ、国内外の試合への旅費などの支援を行っている。パラリンピックについても、香川県障害者スポーツ協会を通じ、選手や団体の強化指定を行い、選手強化全般に要する経費を助成するなどの取組を行っている。また、聖火リレーのコースに、平成30年西日本豪雨で被災した丸亀城を含むなど、復興五輪という大会理念に沿ったコース設定を行い、今後は各市町にも協力いただき、沿道にのぼりや横断幕等を設置するとともに、聖火リレーの詳細ルート等をお知らせするチラシを作成するなど、周知に努める。

## 4 地域交通の連携と利用促進は?

**知事** 昨年10月に、各市町や交通事業者等で構成する第1回「香川県鉄道ネットワークあり方懇談会」を開催し、1月31日の第2回懇談会では、新幹線を骨格に、利便性と結節性に優れた持続可能な公共交通ネットワークを柱とした、本県における鉄道の利用促進方策の素案を示した。「MaaS※」については、地域交通の連携強化につながるよう、ICカードの拡大、鉄道駅と連携したコミュニティバスの運行など交通モード間の乗り継ぎ機能の向上などの取組みの議論を行っており、3月に開催予定の第3回懇談会で、鉄道の利用促進方策を取りまとめる。方策策定後も、実施主体である各市町や交通事業者等と施策の実施状況等について情報共有し、方策の評価や改善など意見交換し、緊密に連携し施策に取り組む。

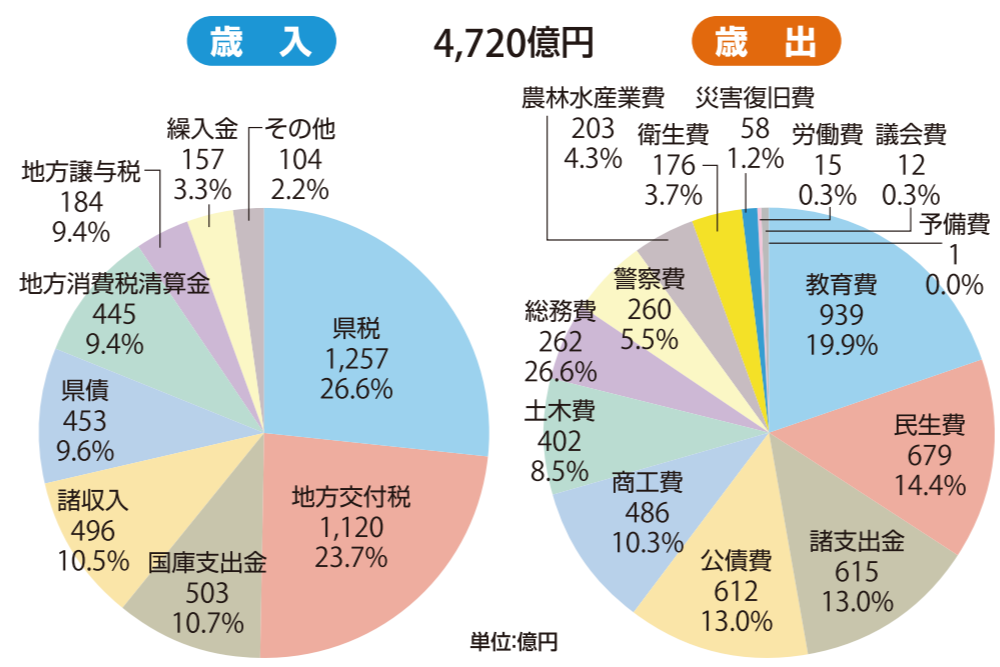
※MaaS……アプリを使い、目的地までの経路や交通手段を調べただけでなく、チケットの購入や決済まで一括で処理ができるシステム

## 5 食品ロス削減推進は?

**知事** 食品ロスの削減に配慮した料理づくりを通じた体験イベントやセミナーを開催するほか、ショッピングセンターや市町のイベント会場等でのキャンペーンを実施するなど、普及啓発に努めている。外食産業における食品ロスの削減を図るため、「30・10運動」を呼びかけるポスターやチラシ等を、忘年会や新年会の時期にあわせて、企業・団体や飲食店に配付するなど、県民総参加の食品ロス削減に向けて取り組んでいる。来年度、国の基本方針を踏まえ、多様な主体が連携し、総合的に取組みを推進するため、「香川県食品ロス削減推進計画(仮称)」を策定するとともに、食品ロス削減に向けた取組みを実践する県内の飲食店を協力店として登録し、その取組みについて広報するなど、より一層の普及啓発を図る。



## 2020(令和2)年度当初予算



## 総務委員会(2/21・25・26)質問項目

- 東京讃岐会館の閉館問題
- 移住促進策(空き家バンク)
- ネット上の人権侵害への対応
- 防犯カメラの設置等

## 6 新型コロナウイルス感染症対策は?

**知事** 県民から感染への不安等に関する相談が寄せられ、高松・上海線は2月から3月の計36往復が運休した。中国を中心に海外からの団体旅行等のキャンセルや、海外への旅行商品の催行停止などに加え、国内旅行のキャンセルも出始めるなど、宿泊業や観光業を中心に県内経済に影響が出てきている。庁内の連絡会議で情報共有を図るとともに、県環境保健研究センターでPCR検査の体制を整え、県内5保健所に新型コロナウイルス感染症の疑いのある方の電話相談窓口を設置し24時間体制で対応している。新型コロナウイルス感染症の疑いのある患者が発生した場合、保健所でその状況を確認し「帰国者・接触者外来」への受診を調整するとともに、県環境保健研究センターでのPCR検査で陽性が判明した場合、濃厚接触者の健康観察を行うなど、感染の拡大防止に取り組む。

## 7 種子条例の制定は?

**知事** 県が中心となって、種子の生産と供給体制を堅持しており、優良な種子の生産と供給が円滑に行われていると認識している。県では、これまで「おいでまい」や「さぬきの夢」は、香川県主要農作物種子協会と「種子の生産など利用に関する許諾契約」を締結し、種子を利用する範囲を県内に限定しているほか、生産者に対しては、自家増殖種子の無断譲渡を禁止するなど、県オリジナル品種を守るための対策を講じているため、現時点で、直ちに条例の制定は考えていないが、引き続き、県が責任をもって、種子の安定供給体制を構築し、農業者が安心して高品質な農産物を生産し、消費者に供給できるよう、各方面の意見などを踏まえ、必要な措置を講じる。

## 8 オリーブの県内消費拡大への取り組みは?

**知事** 今年度は、県内基幹量販店で旬の農産物を取り揃えてPRしている「かがわ『旬のイチオシ』農産物フェア」で、オリーブオイルの出始め時期の10月に、専門家によるオリーブオイルや新漬けの食べ方セミナーを開催し、11月には、飲食店関係者などを対象に、本県の品質表示制度で認定された県産オリーブオイルが高品質であることの理解促進を図るとともに、県産オイルと新漬けを使った調理実習等のセミナーを開催するなど、県産オリーブへの理解を深める機会の創出に取り組んだ。来年度は、こうした取組みに加え、これまでの取組みで得られた消費者や販売店からの意見も踏まえ、小瓶での販売など消費者の選択の幅が広がるような商品づくりの推進に努めるほか、子どもの頃からオリーブを味わい親しめるよう、学校給食での提供にも取り組み、県内消費の拡大を積極的に推進する。

## 9 警察官の優秀な人材確保は?

**本部長** 県内外に広く情報発信するため、県警HPなどのインターネット媒体を積極的に活用するとともに、現在60名を県警リクルーターに指定して、後輩や恩師等への個別具体的な働き掛けを推進している。警察業務を実体験できる就職説明会や就業意識を高めるインターンシップを実施するとともに、参加者ニーズに応じ、夕刻・夜間や休日、女性限定のミニ就職ガイダンスを開催するなど、より多くの受験希望者の確保に努めている。警察に対する要望の多様化・複雑化やDV・ストーカー等の女性被害者や相談者に的確に対応するため、令和3年度には女性警察官の割合が10%程度となるよう計画的に採用しており、

## 10 旧県立体育館の取扱いは?

**教育長** 平成26年に閉館した後は、維持管理コストを最小限にとどめ、県内の他施設で受け入れ困難な大型の体育器具などを保管し、大会を開催する際に貸し出すほか、駐車場は県立武道館の駐車場として活用している。現状のまま利用し続けることはできない中、旧県立体育館を活用したい者が他にいないのか、県以外の第三者機関に保存を委ねたり売却したりすることが可能なのかも含め検討し、できるだけ早く道筋をつける必要があると考える。来年度から、庁内関係課や外部有識者等の意見を聴きながら、県の財政状況にも十分留意しつつ幅広く検討を進め、新県立体育館の建設工事に係る予算案を提案するまでに、基本的な方向性を示せるよう努めていく。